

# 防火チェックシート



火災による被害を減らすため、防火チェックシートで

「あなたの家の防火チェック」をしてみましょう♪



たばこ	寝たばこをしていませんか	<input type="checkbox"/>
	灰皿にたばこの吸い殻が溢れていませんか	<input type="checkbox"/>
	灰皿の周りに燃えやすいものが置かれていませんか	<input type="checkbox"/>
こんろ	過熱防止装置や立ち消え安全装置等の付いた機器を使用していますか	<input type="checkbox"/>
	こんろから離れる場合は、必ず火を消していますか	<input type="checkbox"/>
	こんろの周りに油や燃えやすいものを置いていませんか	<input type="checkbox"/>
電気機器 配線	取扱説明書どおり使用していますか	<input type="checkbox"/>
	電気機器やコンセントプラグ等にホコリが溜まっていませんか	<input type="checkbox"/>
	電気コードを踏みつけたり、物の下敷きになっていませんか	<input type="checkbox"/>
	タコ足配線をしていませんか	<input type="checkbox"/>
放火防止	家の周りに燃えやすいものを置いていませんか	<input type="checkbox"/>
	物置や使用していない箇所の施錠をしていますか	<input type="checkbox"/>
	ゴミは決められた日の朝に決められた場所に出していますか	<input type="checkbox"/>
	廊下・階段付近に燃えやすいものを置いていませんか	<input type="checkbox"/>
暖房器具	衣類や寝具などの可燃物を暖房器具の周りに置いていませんか	<input type="checkbox"/>
	石油ストーブ等に給油の際は暖房器具を止めていますか	<input type="checkbox"/>
	就寝時や外出時は暖房器具のスイッチを切っていますか	<input type="checkbox"/>
住宅用火災 警報器	住宅用火災警報器を設置していますか	<input type="checkbox"/>
	住宅用火災警報器を設置してから10年が経過していませんか	<input type="checkbox"/>
	住宅用火災警報器の作動確認を月1回程度、行っていますか	<input type="checkbox"/>
アルコール 消毒	たばこやライター等の火気の近くで使用していませんか	<input type="checkbox"/>
	直射日光の当たる場所で保管していませんか	<input type="checkbox"/>
	詰め替えを行う時は換気をしていますか	<input type="checkbox"/>
酸素療法	高濃度の酸素を吸入中にたばこ等の火気を近づけていませんか	<input type="checkbox"/>
	酸素療法装置を使用中は周囲2m以内に火気を置いていませんか	<input type="checkbox"/>
	取扱説明書どおりに正しく使用していますか	<input type="checkbox"/>
火遊び	子供の手が届くところにマッチやライターを置いていませんか	<input type="checkbox"/>
	日頃から火の怖さや危険性について子供達へ教えていますか	<input type="checkbox"/>
	花火等で火を取扱うときは必ず大人が付き添っていますか	<input type="checkbox"/>



松戸市消防局



あなたの家の防火チェックはどうでしたか？

引き続き、「4つの習慣」と「6つの対策」で火災による被害を減らしましょう！

住宅  
防火

いのちを守る

10のポイント

4つの習慣



1 寝たばこは絶対にしない、させない

2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない

3 こんろを使うときは火のそばを離れない

4 コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

6つの対策

<p>過熱防止センサー 出火防止</p>	<p>定期的な点検 早期覚知</p>	<p>延焼拡大防止 防火カーテン 防火アームカバー</p>
1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する	2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的な点検し、10年を目安に交換する	3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防火品を使用する
<p>初期消火</p>	<p>早期避難</p>	<p>地域の助け合い</p>
4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく	5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく	6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う



やさシティ、まつど。  
matsudo